

COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

|| 企業調査レポート ||

パンチ工業

6165 東証プライム

企業情報はこちら >>>

2026 年 8 月 21 日 (金)

執筆 : フィスコ客員アナリスト

渡邊俊輔

FISCO Ltd. Analyst Syunsuke WATANABE



FISCO Ltd.
<https://www.fisco.co.jp>

パンチ工業 Research Memo : 割安是正で株価は 2~5 倍高へ、長期ビジョン「Vision60」で利益は 3 倍超

パンチ工業<6165>の株価における割安是正の動きが一段と注目される局面となってきた。株価の割安感のみならず、業績の上振れおよび上向き傾向も加わり、1 倍を大きく下回る PBR0.63 倍、配当利回り 3.84%がクローズアップされることになる。2025 年 5 月には長期ビジョン「Vision60」を発表しており、金型および FA 市場の成長を取り込む形で、2035 年 3 月期に売上高 80,000 百万円、営業利益 8,000 百万円を目指す方針が示された。今 2027 年 3 月期予想からの営業利益 CAGR は+16.2%となり、前期で 3.8%と低い ROE もマーケット平均以上に大きく改善することになる。少なくとも PBR1 倍までの回復改定で株価は約 6 割高、長期ビジョン達成時で上場企業の平均となる PER15 倍だと株価は 2,600 円超（現株価の約 525 円と比較して約 5 倍）と試算される。今後 1 年程度の目標株価は 1,128 円とした。

意欲的な中期経営計画の達成に向けて好調なスタート

1.2027 年 3 月期の業績

足もとの業績好転も株価上昇のカタリストになり続けている。8 月 7 日に発表された第 1 四半期決算は、売上高が前年同期比 6.7%増の 10,852 百万円、営業利益が同 47.4%増の 566 百万円となった。前期の第 4 四半期から日本事業の想定を上回る受注回復が観測されていることで原価率が改善したことに加え、中国や東南アジアをはじめとする海外事業においても底堅い需要が継続している。中東地域を巡る地政学的リスクの高まりや中国経済の緩やかな減速などの不透明感を考慮しつつも、中間期および通期業績予想は上方修正され、2027 年 3 月通期予想は売上高で前期比 8.1%増の 45,500 百万円（事前予想は 45,000 百万円）、営業利益で同 18.1%増の 2,400 百万円（2,400 百万円）となった。配当方針「連結配当性向 30%以上、かつ株主資本配当率（DOE）3%以上」に則り、1 株あたり配当予想も 20.00 円から 20.10 円に上方修正されている。

2.事業の概要

同社は 1975 年創業の金型部品メーカーで、主にプラスチック製品の製造工程で用いられる射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピンやスプルーブシュ等の金型用部品、プレス金型用のパンチ・ダイやダイセットガイド等の製造・販売を行っている。同社製品は金型を構成するうえでなくてはならないため、生活を支える「縁の下の力持ち」となる。金型用部品は、汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップする「カタログ品」とカスタムニーズにも柔軟に対応する「特注品」に分けられているが、同社は日本・中国で特注金型部品シェア 1 位となっている。2,000 台以上の設備で幅広い対応力を持つ一気通貫の生産体制や顧客密着型の営業体制、創業以来培っている高い技術力が特徴となる。国内では、全国 10 カ所の販売拠点で約 6,000 社の顧客と取引を行い、中国では約 8,000 社の顧客と取引を行っている。2026 年 3 月期における地域別売上高構成比では、日本 26.2%、中国 59.2%、東南アジア 4.8%、欧州その他 9.8%。業種別売上高構成比では、自動車 42.2%、電子部品・半導体 17.1%、家電・精密機器 9.3%、その他 31.4%。金型部品の新規顧客開拓は、カタログ品から特注品という幅広い商品群に加え、顧客のきめ細かい要望に柔軟に対応できる点がポイント。品質・納期を担保する中で、国内の工場だけではなく、低価格であれば海外のグループ会社や協力工場という選択肢も提供できる。カタログ品と特注品の比率は 4.5 : 5.5 程度と特注品の比率が高い。また特注品の利益率が 10%程度高く、今後付加価値の高い特注品の売上比率を上げる事で利益率を向上させる戦略を掲げている。

3.ミスミグループ本社との提携と成長戦略

同社はミスミグループ本社<9962>と資本業務提携契約を締結しており、付加価値の高い特注品ビジネスにより特化して持続的な利益成長を目指している。同提携は、パンチグループとミスミグループが対等なパートナーとして継続的に共存共栄を図り、産業界全体の繁栄を目指すものである。ミスミグループはカタログ品を顧客工場に短納期で供給する「グローバル確実短納期」の強固な供給体制およびデジタル対応力に強みを持っている一方で、パンチグループは精密加工技術のノウハウおよび標準部品から特注部品までの幅広い対応力を有しており、互いの強みを最大限に活かしていく狙い。国内市場の成長鈍化や高齢化社会の進展、後継者不足やコスト高などの難しい市場環境のなかで、「標準品」×「特注品」の協業によりグローバルに事業成長を果たしていくようだ。

■ Key Points

- ・ 2027 年 3 月期は国内事業が好調、1Q から好スタートとなり、早くも上方修正
- ・ 2035 年 3 月期に売上高 80,000 百万円、営業利益 8,000 百万円と意欲的な長期ビジョンも発表
- ・ ミスミグループ本社との資本業務提携でグローバルに事業成長へ

ディスクレーマー(免責事項)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

また、本レポートに掲載されている発行体と当社（IR コンサル部）は現在または将来において、（アナリストレポートの作成や動画配信、IR コンサルティングサービスなどの）有償の取引を行っている/行う場合がございます。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp